



第2回「京のプレミアム米コンテスト」を開催します

ふるって
ご参加ください!

募集対象者：おいしいお米づくりに取り組む府内の農業者及び組織
対象品種：平成30年産のコシヒカリ、キヌヒカリ、ヒノヒカリのいずれかの単一品種とし、ブレンドしたものは不可。

出品の申込み：原則として、インターネット申込みとします。
申込方法の詳細は、京都府ホームページで確認してください。

<http://www.pref.kyoto.jp/nosan/contest.html>

募集期間：平成30年8月1日（水）～8月31日（金）

問い合わせ先：京都府農林水産部農産課 京の米・豆・保険担当 TEL (075) 414-4953
FAX (075) 414-4974



秋の農作業安全運動

秋の農繁期となり、農業機械を使う機会が多くなります。農林水産省の調査データによれば、農作業中の事故で亡くなる方は近年350人前後で推移しており、農業は他の産業分野と比べて死亡事故の発生件数が多い分野となっています。

日頃から安全意識を持って作業を実施し、農作業事故ゼロを目指しましょう。



コンバインやトラクターを用いて農作業をされる際は、死角なども十分に安全確認し、後進時はより慎重に運転しましょう。



農業機械の点検整備・清掃の際は、簡単な作業であってもエンジンを停止し、十分な安全を確保して作業しましょう。



侵入害虫 クビアカツヤカミキリ の発生にご注意ください!

国内の一部地域では、中国原産の侵入害虫クビアカツヤカミキリ（写真1）の被害が拡大しています。幼虫がモモ、ウメ、サクラ等の生木の内部を食害し、樹勢を低下させ、被害が激しい場合は枯死に至ります。その際、うどん状のフラス（木くず、写真2）を排出します。京都府内で発生は確認されていませんが、隣接する大阪府では確認されており、今後京都府内でも発生する可能性があります。

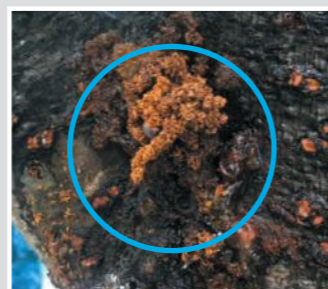
生産園地において本種を見つけた場合には、直ちにお近くの農業改良普及センターまたは病害虫防除所までご連絡ください。

問い合わせ先 丹後農業改良普及センター（TEL：0772-62-4308）
京都府病害虫防除所（TEL：0771-23-9513）

※写真提供：京都府病害虫防除所



【写真1】左がオス、右がメス
体長約 2.5～4cm



【写真2】○印の中がフラス

丹後産 丹後の特産「くだもの」が買える直売所を「海の京都DMOホームページ」に掲載(予定)し、丹後産ナシのPRをしています。



海の京都DMO

<http://www.uminokyoto.jp/>



～築いていこう！ 男女共同参画～

TANGO

丹後普及センターだより

第28号

(平成30年8月発行)

〒627-8570

京都府京丹後市峰山町丹波855

京都府丹後広域振興局農林商工部

丹後農業改良普及センター

電話：0772-62-4308

FAX：0772-62-5894

丹後普及センター

検索

内容紹介

特集1

GAP

丹後管内の
取り組みについて

特集2

平成30年からの普及計画

～知ろう、守ろう、考えよう、みんなの人権～



GAP(Good Agricultural Practice)とは農業生産工程の管理手法のことで、食の安全、労働の安全、環境保全などに取り組むことをいい、農林水産省は、2020年東京オリンピックの食材供給、輸出拡大や農業人材育成等、競争力の強化を図るためGAPを推進しています。

丹後管内では今年に入り、京丹後茶GAP推進協議会と有限会社ワタミファーム京丹後農場の2団体が、JGAP認証を取得されました。普及センターでは認証取得に向け、農場の点検と課題の確認や改善等を支援しました。

今年度の環境保全型農業直接支払い交付金から「国際水準のGAPの実施」が要件化されました。インターネットでも自主研修可能です。**「これから始めるGAP」**左のQRコードまたはホームページ(<http://gap.maff.go.jp/>)にアクセス。

京丹後茶GAP推進協議会の取り組み

京丹後茶GAP推進協議会は、約44haの茶園と製茶工場を一つの農場として、総合的に農業生産工程を管理する団体として設立され、今年3月に緑茶(生葉・荒茶)のJGAP認証を取得されましたので、事務局にお話を伺いました。

近年、海外における日本食の健康的なイメージ等、農産物の輸出が増える中で、茶の輸出も増加が見込まれ、京丹後市茶生産組合では海外輸出に対応した栽培、防除体系を実施しています。JGAP認証取得が、茶産地としての評価を高め有利販売につながることを期待されることから、認証を取得しました。

従来から栽培履歴や製造履歴があり販売先との信頼関係が築かれていましたが、GAPにより農業生産工程が適正であることが認められ、これからは安心・安全なお茶を生産・出荷していきます。



▲松村会長(右)と堀江係長(左)

有限会社ワタミファーム 京丹後農場

京丹後市の国営開発農地約9.1haで野菜を栽培されている有限会社ワタミファーム 京丹後農場が、すでに取得している有機JAS規格に加え、今年5月に青果物のJGAP認証を取得されましたので部谷(ひだに)農場長にお話を伺いました。

有機農業を特別な技術でなく、農業をあまり分からない人でも、参入、定着できる仕組みを確立するため認証取得を目指しました。

取り組み当初はGAPを理解し、農場管理を基準に合致させるのが大変でしたが、研修会に参加するなどいろいろな方に教えてもらい、食品の安全・安心、環境保全、品質向上、労働安全などがより理解できるようになりました。

これからは、農場経営の客観的な評価に基づき、より信頼性の高い生産管理体制を構築して安全な農作物の生産に取り組むとともに、農業経営の平準化につなげていきます。



▲収穫の時には手袋を着用

～守りましょう！ 農薬の適正使用であなたの農業～

開発農地における再生産性の高い農業の構築



水稲における生産可能な経営品目の確立



若い担い手への伴走支援



京野菜生産振興



☆ 業務用キャベツの安定出荷に向けた支援

計画的に作付けできるよう対策を検討するとともに、栽培技術の高位平準化を支援します。

☆ ナシの品質向上と海外輸出に対する支援

ナシの秀品率向上につながる取組と、輸出対応に向けた条件整備(害虫防除)を支援します。

☆ 茶の収量増加・品質向上につながる技術支援

安全でおいしいお茶づくりに取り組み、実需の要望を満たす収量・品質の確保を支援します。

☆ 生産者とともに目指す美味しいお米づくり

生産者自らが食味の客観的評価に基づき、美味しいお米生産に取り組むことができるよう、技術の実証を行います。

☆ 有機農業でのお米づくり

通常の栽培とは違った観点からPRできるお米づくりの一つとし、水稲の有機農業栽培技術の蓄積、安定生産に向けた取り組みの支援を行います。

☆ 需要に応じた水田活用 ～京の輝きづくり～

ほ場に応じた施肥設計を提案し、安定収量を実現することによって、農家が重要経営品目として位置づけできるよう、支援を行います。

☆ 青年等就農計画作成支援

丹後農業実践型学舎卒業生も含め、5～10名の若い研修生を対象に各自が目指す農業の計画作成の支援を行います。

☆ 個別的課題を解決するための伴走支援

認定就農者は技術や資金繰り等が問題になることがあるため、個人毎に課題を設定し、その解決に向け支援を行います。

☆ 安定経営に向けステップアップ支援

次代の地域農業の核として期待される若手農業者に対して、「経営力アップ講座」の開催等、さらなるステップアップにつながる取組を行います。

☆ 黒大豆エダマメの安定したリレー出荷の実現

主に昨年度課題に残った育苗技術の向上や大規模生産者の安定したリレー出荷の実現に向けた支援を行います。

☆ 省力化技術の検討、高品質なえびいもの生産

定期的な巡回指導や栽培講習会を通じて生産者の技術向上を図り、省力化技術の検証なども組み合わせながら、収量・品質の平準化や高品質なえびいものを安定して出荷ができるように目指します。

～環境にやさしい農業は土づくりから～